



# 平成15年度 気持ちも新たにスタートしました! 部局長紹介

沖縄振興計画に基づく新たな県づくりに実質的に乗り出す重要な年度である平成15年度がスタートしました。本特集では、新たな顔ぶれを含めた沖縄県16名の部局長の紹介を行います。紹介にあたって今年度の抱負のほか、趣味、好きな言葉などを伺いました。

## あらかき りょうこう 新垣 良光 知事公室長



あらかき・りょうこう 那覇市首里出身、58歳。好きな言葉は「継続は力なり」。趣味はゴルフ、テニス、読書。

基地の整理・縮小、事件・事故の防止、日米地位協定の見直し等の課題解決に向けてさらに頑張り、沖縄の基地問題を沖縄だけではなく、全国的な問題としてとらえてもらえるよう訴えていきます。

知事公室はとかく基地問題だけを担当しているように見られがちですが、基地対策室、普天間飛行場・那覇港湾施設返還問題対策室以外に、沖縄平和賞など平和施策を所管する平和推進課、男女共同参画社会の実現を図る施策を所管する男女共同参画室、知事と県民が直にふれ合う場を設定したり、県の施策をPRする広報課、そして秘書課といずれも県政の中の重要な業務を担う三課三室があり、やりがいのあるポストです。

今年度は、花の平和交流事業、美ら島沖縄大使、男女共同参画推進条例の周知・浸透、名誉県民章の授章を重点的に取り組めます。米軍事件・事故への抗議の時以外は常に笑み絶やさず、猪突猛進することなく、周囲と十分調整しながら施策を進めていきます。

## はなしろ よりたか 花城 順孝 企画開発部長



はなしろ・よりたか 平良市出身、55歳。趣味は野球。

平成十五年度は、沖縄振興計画に基づく新たな県づくりに実質的に乗り出す重要な年度となります。沖縄振興計画のアクションプランである十一の分野別計画を着実に実施し、企画・総合調整部門の責任者として各部署をサポートしていきたいと考えています。

その際に大事な視点は、時代潮流を的確に捉え、細心の注意を払いつつ迅速性を確保し、同時に行政事務の遂行過程の透明性を高めていくことであると考えています。企画開発部は、短期・中期・長期的な施策など、様々な切り口のプロジェクトを多数抱えており、迅速性・透明性に留意し適切に実施していきます。特に、大学院大学の早期設置に向けては、候補地の選定、学長選任など、内閣府と連携しながら取り組んでいくとともに、大学院大学周辺整備推進検討会の開催、知的クラスター集積促進調査の実施、設置促進県民会議の開催など環境整備にも積極的に取り組んでいきます。

その他、交通問題や駐留軍用地跡地の利用の促進など県政の重要な課題に積極的に取り組んでいきます。

## なかだ てるゆき 仲田 輝亨 総務部長



なかだ・てるゆき 伊是名村出身、55歳。好きな言葉は「照顧脚下(立ち止まり、自らを顧みよ)」。趣味は磯釣り。

平成十五年度は、県政の最重要事項である「行政改革」のスタートの年です。去る三月に策定した、今後三年間にわたる「新沖縄県行政システム改革大綱」は、基本理念として「県民本意の成果・効率重視のスマートな行政」を掲げています。

このため、これまで以上にコスト意識を徹底し、成果主義や民間能力活用による効率的な行政運営を行うことが求められます。また、新たな視点としては、本県の特長や実状に即した政策を自ら考え、実行できる創造的な行政体制を確立することや県民が行政に参加する機会の拡大を図るとともに、行政と県民がそれぞれの役割と責任を分担しながら協働による県づくりをすることが必要です。

今年度は、沖縄振興計画の実質的なスタートの年であり、同計画に盛り込まれた諸施策を着実に推進していくためにも、厳しい財政状況の中で新大綱に掲げられた推進項目を一つ一つ確実に実施していきたいと思っております。

## うえはら あきら 上原 昭 地域・離島振興局長



うえはら・あきら 糸満市出身、53歳。趣味は草野球。

まず第一に、フットワークを良くすることです。地域・離島振興局の仕事は、何よりも地域の意見を良く汲み上げることであり、私自身を含め、局の職員が各地を隈無く回る必要があります。合併を推進する市町村を支援するために早くも早急に取り組めます。

第二に、離島過疎地域を多く抱える沖縄型の地方自治、広域行政のあり方を研究し、提案することです。分権や合併の流れが避けられない以上、基礎的自治体や地域共同体のあり方を検討することは、特に沖縄の場合は重要です。国や他府県の動きも見極める必要があります。このため、早めに若手職員を中心とする研究会を立ち上げたいと考えています。

第三に組織の効率化も必要です。行財政状況が厳しい中、県、市町村はもとより、関係団体も含め行政改革への取り組みは必至です。多くの関係者や有識者の意見を聞いて参ります。その他、課題は山積していますが、心身をリフレッシュし、身軽にそして楽しく仕事に取り組みたいと考えています。

もろみ たけぞう 諸見 武三 農林水産部長



もろみ・たけぞう 伊平屋村出身、58歳。  
趣味は磯釣り（社団法人全日本釣り団体協議会会員）。

平成十五年度は、沖縄振興計画の分野別計画として策定された「沖縄県農林水産振興計画」の実質的な初年度として、計画に盛り込まれた諸施策・事業の着実な推進に取り組みたいと考えています。

具体的には、多くの離島を抱える本県の地理的不利性等の軽減に関する農林水産振興上の課題に積極的に取り組むとともに、安全・安心な農林水産物を求める消費者・市場等のニーズに対応したおきなわブランドの確立や生産供給体制の強化を行っていきます。

また、観光・リゾート産業と連携したグリーンツーリズム等の推進などに取り組み、「持続的農林水産振興」及び「多面的機能を生かした農山漁村の振興」を図っていききたいと考えています。

このためには、農林水産部の本庁十四課、宮古・八重山地域の出先機関等を含め、四十九機関の職員一、二五名が一体となって目標実現に取り組んでいける環境づくりが重要であると思っています。

とりわけ、農林漁家や地域と直接関わる農業改良普及センター、家畜保健衛生所や農・畜・林・水の試験場、農林土木事務所、病害虫防除所、ミバ工対策事業所、農業高等学校等の関係機関との連携を密にして、一歩一歩着実に前進していきたくと考えています。

やかぶ ちよういち 屋嘉部 長市 文化環境部長



やかぶ・ちよういち 石垣市出身、58歳。  
趣味は囲碁、ゴルフ、読書。

文化環境部は、文化、環境から消防防災そして国際交流なども含まれ、県民生活全般にかかわる幅広い部署です。そのため、それぞれの分野に気を配りながらやっていきたいと考えていますが、特に、今年五月十六日、十七日に国主催の第三回太平洋・島サミットが開催されますので、その成功に向けて国と一体となって取り組んでいきます。また、八月の文化シンポジウム、十一月の芸大のオペラ公演についても積極的に取り組んでいきます。

環境部門については、ちゅら島環境美化条例の実効性を確保するため、環境美化指導員を配置して市町村との連携を強化し、さらに「デポジット制」の導入についても検討していきます。

新石垣空港建設事業、普天間飛行場代替施設開設については、環境影響評価の手続きが適切に行われるように十分に留意して取り組んでいきます。不法投棄、廃棄物焼却施設、最終処分場の用地確保の問題など、表面化してきた廃棄物問題に適切に対応できるようにしたいと考えています。

さらに、地図や画像で受信できる総合的な防災情報システムを平成十五年度内に構築できるように取り組んでいきたくと考えています。

いがわ まさかず 伊川 征一 商工労働部長



いがわ・まさかず 平良市出身、58歳。  
好きな言葉は「一生懸命」。趣味はゴルフ。

昨年度策定された沖縄振興計画及び分野別計画である沖縄県情報通信産業振興計画、沖縄県職業安定計画、沖縄県産業振興計画を着実に推進していくことにより、活力のある民間主導の自立型経済の構築を図っていきます。

例えば、本県の新たなリーディング産業として期待される情報通信関連産業や、今年度に開所する沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターを活用した健康バイオ関連産業の振興を図るとともに、雇用対策として新規学卒者を中心とする若年者の就職を総合的に支援する「沖縄県キャリアセンター」を設置し、産・学・官連携のもと、事業を展開していきます。

厳しい経済状況の中で、県内中小企業への支援策や雇用対策など、課題は山積してはいますが、本年度は新しい枠組みでスタートした新法や新計画を基に措置された初めての予算が組まれていますので、計画に掲げた目標が達成できるよう、効果的な事業展開を図っていきたくと考えています。

いなぶく やすお 稲福 恭雄 福祉保健部長



いなぶく・やすお 那覇市出身、53歳。  
好きな言葉は「のぞみあれば、道あり」。趣味・特技については「下手の横好き」とのこと。

本県においては、地域住民の参加と連携に支えられた福祉社会の充実や、安心して子どもを生育てられ、高齢者や障害者等が安心して暮らすことのできる社会の実現、さらに医療の質の向上や医療基盤の充実、生涯にわたる健康づくり等が重要な課題となっております。

特に、二期目に入った介護保険の制度の充実と認可外保育所対策、近年危惧されている長寿県沖縄の評価の確立が当面の課題です。

昨年十二月、都道府県別平均寿命が公表され、本県男性の平均寿命が四位から一気に二十六位に急落し、長寿県としての地位が揺らいでおり、県民の健康づくりに対する一層の啓発と実践を促す取り組みが求められています。

このため平成十五年度においては、昨年策定された「沖縄振興計画」及び分野別計画の「沖縄県福祉保健計画」に基づき、県民の立場に立った福祉、保健、医療の充実に取り組んでいきたくと考えています。

ぎなま もりお 宜名 真盛 観光リゾート局長



ぎなま・もりお 那覇市出身、56歳。  
好きな言葉は「継続は力なり」。趣味はウォーキングとガーデニング。

平成十四年度は観光業界や県民と一体となった取り組みにより、年間観光客数が過去最高の四百八十三万人を達成したほか、平成十七年の米州開発銀行年次総会の沖縄開催決定など、大きな成果をあげることができました。

平成十五年度は、昨年度に引き続き健康保養型観光、エコツーリズム、世界遺産周辺整備事業など、地域特性を活かした体験・滞在型観光の推進や、フィルムオフィスの設置、国際観光・保養特区の指定に向けた取り組みの強化等を図るとともに、新たに人材育成システムや観光共通プラットフォームの構築、土産品対策などに取り組んでいきます。

また、観光客五百万人達成に向けた誘客活動や国際会議等の誘致を積極的に推進するとともに、インフラ整備など受入体制の充実を図り、県民のみなさまのご理解・ご協力を得ながら、リゾート地としての総合的な質の向上を目指していきたく考えています。

ひらい てつお 平井 哲夫 病院管理局長



ひらい・てつお 佐敷町出身、58歳。  
好きな言葉は「誠意」。趣味はゴルフ。

県立病院は本県の医療に大きな役割を占めており、その役割をしっかりと担っていくためソフト、ハード両面の整備を積極的に取り組んでいきたくと考えています。

県立病院事業については、ますます多様化する県民の医療ニーズに応えるために県立病院の役割や他の医療機関との機能分担・連携等、医療提供のあり方について抜本的な見直しを図ります。平成十五年一月に設置された「県立病院の今後のあり方検討委員会」において検討を進めており、年内を目途にご提言をいただく予定です。

高度多機能病院については、那覇・南部の六十五万医療圏の救命救急医療を確保し、さらに県内の母子総合医療の向上を図るといった観点から、平成十五年度に実施設計を行い、設計完了後建設工事に入ります。

一方、県立病院現場においては、県民に適切な医療サービスを提供するため、日夜がんばっております。病院管理局としては、これら病院現場と協力し、平成十五年四月から始まる新たな「沖縄県病院事業経営健全化計画」に沿って業務改善を図るとともに、より良質な医療サービスが提供できるように努めていく方針です。

あ げ な ま さ ゆ き 安慶名 正行 土木建築部長



あ げ な ・ ま さ ゆ き 那覇市出身、57歳。  
好きな言葉は「自然体」。趣味は散歩、囲碁。

昨年度は「沖縄振興計画」とその分野別計画である「沖縄県社会資本整備計画」が策定され、社会資本整備の方針を明らかにしました。今年度は実質的な初年度であり、着実に進めていく考えです。

昨今、公共事業への風当たりが強くなっていますが、本県ではまだまだ公共事業の需要、各市町村からの要請は大きいものがあります。観光や産業支援インフラ整備、交通渋滞の解消、通学路の歩道設置、離島苦の改善等の切実な要望が数多くあります。県民生活を支えるインフラは、空気のごとく当たり前の存在になつていますが、台風等による浸水や道路の交通止め等は県民が多大な不利益を受けるので、その対策にも配慮していきたいと思えます。

今年八月は県民念願のモノレールが開通予定です。モノレールは定時定速運行という大きな特性があります。交通渋滞の改善、駅を中心としたまちづくりが大きく貢献すると思えます。今後とも住民のニーズに対応し、「安全、安心」を原点到、環境に配慮した社会資本整備を積極的に進め、県民生活を支えていきたいと思えます。

と う め な お み ち 当銘 直通 企業局長



と う め ・ な お み ち 那覇市出身、60歳。  
好きな言葉は「誠心誠意」。趣味はソフトテニス。

「安全でおいしい水の安定供給」が企業局の使命であると考えています。人口や観光客の増加などに伴って、今後とも水需要は伸び続けるの見込みであり、引き続き多目的ダム建設の促進や、西系列水源開発事業、新石川浄水場の建設、老朽化した施設の改築等を通じて、県民の皆様様に安定的に水をお届けしていきたいと考えています。

北谷浄水場内には既に高度浄水処理施設を導入しており、引き続き安全な水の供給に努めます。また、同浄水場内には硬度低減化施設を建設しており、六月にはおいしい水を県民の皆様にお届けできる予定です。

工業用水道事業については、事業規模の見直しをはじめとする抜本的な対策を進めます。

企業局の経営については、今後厳しくなるものと見込んでおり、平成十五年度から始まる第六次企業局経営健全化計画（平成十五年～平成十七年度）を強力に推進することにより、企業局経営の健全化・効率化を図っていききたいと考えています。

あ わ ち ょ う ち ゅ う 安和 朝忠 宮古支庁長



あ わ ・ ち ょ う ち ゅ う 浦添市出身、57歳。  
好きな言葉は「一期一会」。趣味はガーデニング。

これから豊かな時代を築くためには、「健康」「環境」「文化」がキーワードだと考えており、このような視点を行政及び日常生活でも大切にしていきたいと思っています。

本年度は、新沖縄県離島振興計画が実質的にスタートする年となり、管内市町村との連携を密にしながら、宮古地域の振興策を実施していきたいと思っています。

とりわけ、宮古の圏域的課題である伊良部架橋の実現促進をはじめ、宮古地域ゼロエミッション社会形成の推進、市町村合併の支援など、圏域の将来に向けた重要な基盤づくりに取り組んでいきたいと考えています。

そのためには、宮古の人々の進取な気質と人情、団結力を活かしながら、支庁職員と一丸となって諸振興施策を推進していきたいと考えています。

や ま う ち あ き ら 山内 彰 教育長



や ま う ち ・ あ き ら 読谷村出身、58歳。  
好きな言葉は「和顔愛語（優しい顔と思いきやりのある言葉）」、「格物致知（しっかり物事に取り組み、確かな知識を得る）」。  
趣味は読書。

今年度は、「2003沖縄空手道古武道世界大会」や第十五回全国生涯学習フェスティバル「まなびア沖縄2003」等の大きな催しがあります。本県の特長をとり入れ、沖縄らしい大会になるよう準備をすすめているところであります。県民の皆様をはじめ多数の参加をお願いたします。

県教育委員会では、社会の大きなうねりの中で、昨年度より教育長期計画や県立学校編成整備計画、新学力向上対策等、数多くの教育施策を策定したところであり、その推進、具体化を図っているところであります。

「教育は継続」であり、種をまきながら育てるといふ教育の基本を踏まえ、策定された諸施策の具現化に努めていきます。その際は「理解と対話」をキーワードに、教育行政を推進していきたいと思っています。多くの課題もありますが、その解決に万全を期し、二十一世紀の沖縄を担う子どもたちの健やかな成長を目指して誠心誠意取り組んでいきます。

お お は ま た か の ぶ 大浜 高伸 八重山支庁長



お お は ま ・ た か の ぶ 石垣市出身、56歳。  
趣味はスポーツ観戦と映画鑑賞

八重山圏域の振興発展を図るため、総合的な施策の推進に携わる機会を与えられ、微力ながらその任を果たすべく努力します。

本圏域は多くの個性的な島々から形成され、それぞれに豊かな自然や伝統文化等、多くの魅力的な資源があります。それらを活かした農林水産業、観光リゾート産業の振興に取り組んでいきたいと考えています。

また、本圏域には新石垣空港建設事業をはじめ、赤土流出防止対策等の県政の重要課題がありますが、三市町をはじめとする諸団体と連携してその進捗に取り組んでいきます。

特に、新石垣空港建設事業について、今年には空港設置許可申請に向けた取り組みの上で重要な年です。地元では、新石垣空港の早期建設を求める郡民の活動がますます盛り上がりを見せており、八重山支庁としても地元と一体になり、事業を推進していきたいと考えています。

た か は し き よ た か 高橋 清孝 県警察本部長



た か は し ・ き よ た か 千葉県出身、46歳。  
好きな言葉は「強くなければ生きられない。優しくなければ生きる資格がない」。  
趣味は映画鑑賞とスポーツ。2度目の沖縄勤務で泡盛と県産ビールのファンに。

「水と安全はタダ」と、かつてはいわれていましたが、残念ながら現在はそうではありません。全国的に犯罪が増加する傾向にあり、当県も昨年中の事件被害の届け出件数が十年前の約二倍に増加し、質的にも悪質・凶悪化しております。

県警では、今年一月から、県民が不安に感じている身近な犯罪（ひったくり、オートバイ盗、侵入窃盗、車上狙いなど）の検挙と抑止を重点にした各種取り組みを行っております。キーワードは二つ。「攻めの警察活動の推進」と「情報の積極的な発信」です。警察官をより多く街頭に出動させると共に、県民生活の安全に有益な情報をタイムリーに発信することにより、犯罪の未然防止を図ろうというものです。

「安全」は、県民の日常生活や観光を含めた経済活動のベースになるものです。一人の警察だけでは、その確保には限界がありますので、県民の皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。